

## 国家公務員及び日南町新規採用職員研修が環境林（新屋地区）にて行われました。

国家公務員及び日南町新規採用職員の研修が、平成25年6月3日～7日に日南町内で行われました。

これは、国家公務員の新規採用職員が地方自治体行政の現場を訪問し、実地体験や交流を通じて地域の多様性や住民のニーズについて認識を深めるためのものです。合わせて、日南町新規採用職員も同日程にて研修が行われました。（国土交通省・財務省・厚生労働省 各1名、日南町7名）

6月5日には、朝採れ野菜の出荷の様子を見学した後、農業研修生と共に野菜の剪定活動を、午後には新屋地区の環境林にて農業研修生と共に伐倒、枝切り、玉切りの作業をするとともに、林業指導員より間伐作業の必要性や過去の作業の様子について、貴重な話を聞くことができ、研修生も関心を持っていた様子でした。

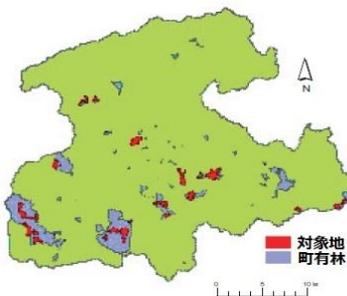
作業終了後は日野川源流の土屋地区に移動、日本の原風景の残る県内最上流部の水田の様子を見て、環境林内の作業林道を抜け入り、森の奥深さを見学して終了となりました。

国家公務員職員にも、日南町職員にも、日南町の森林の現場を巡る貴重な機会となりました。



## J-VERクレジット販売による森林整備が始まっています (環境省認定によるカーボンオフセットプログラム)

J-VER対象地位置



平成25年3月、日南町では日南町有林(2007年～2012年の間伐地302ha)に於いて、環境省が認定するオフセットクレジット(J-VER)を取得しました。クレジットの売却により得られた資金は町の林業振興に活用し、環境保全、生態系の維持につなげることに活用されます。また、クレジットの購入側には、企業活動により発生するCO2をオフセット出来る利点があります。

日南町のJ-VERは、第64回全国植樹祭において発生するCO2のオフセットに活用されました。町では「日南町有林J-VER地域コーディネーター」を募集し、積極的な活用に関わり付けていく意向です。また、町のホームページでもJ-VER購入方法が記載されるなど今後の森林活用のあり方の一つとして期待されています。

NPO事務局より:

先月号でお知らせ致しました木材利用エコポイント事業につきまして、当NPOの登録が完了いたしました。当NPOを含む、「森林づくり・木づかい活動に対する寄附」や「特定被災地域に対する寄附」に充当することも可能です。

エコポイントの詳細につきましては、木材利用ポイントのホームページ等でご確認をお願いいたします。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/130329.html>